

# 学びの教室 授業指導案

クラス  
対象年齢：

7 月 1 週目  
作成者： 眞本 千恵

テーマ	ひらがなのことば
めあて	日本の生活の中の伝統文化に親しむために、七夕の由来を知り、自分の願い事を書いたり、身近な人のための願い事を書くことに興味をもてるようにする。はさみやのりを使いながら自分のイメージを表現することを楽しむ。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	視覚トレーニング				
10分	<導入> 七夕の由来を知る	絵本		①七夕の絵本を見せながら七夕の由来を説明する。	①絵本をみる。
10分	願い事を想起させる		板書No.1	①ひとりひとりに自分の願い事を二つ書いてもらう。②身近なひとのための願い事の一つかいてもらう。③書き終わったら発表してもらう。	①作文用紙に願い事を書く②書いたものを発表する。
15分	願い事を短冊に書く	短冊		願い事を短冊に書いてもらう。	願い事を短冊に清書する
15分	七夕飾りを作る	折り紙、ひも、のり、はさみ	板書No.2	作ったものをいくつか置いておき、子どもたちには、「こんなふうに作りたい」という思いを表現できるように作ってもらう。	思い思いにのりやはさみを使いながら七夕飾りを作る

宿題

板書No.1	板書No.2	板書No.3
家族が健康にすごせますように。、などいくつか見本を書く	見本用に作った七夕飾りを黒板に貼	

今月の家庭学習のポイント  
上手に書けたら「褒める」！ ことをしてあげてください。家庭でも素材に合わせてのり、はさみなどを使って七夕飾りを作ってみてください。



なまえ


がつ

にち





はたらきものの青年を会わせました。  
ところが、ふたりは、こいびとどうしになると、  
しごとをなまけるようになりました。



おこった  
王さまは、  
天の川を  
はさんで  
ふたりを  
はなれ  
ばなれに  
しました。

ひこぼしと 会えなくなった おりひめは、  
ないてばかりです。かわいそうに 思った  
天の 王さまは「7日に 1日だけ 会って  
いい」と カラスに いいました。しかし、  
カラスは まちがえて 「7月7日に だけ  
会って いい」と つたえてしまったのです。

たなばたつめ」の  
いかいごとをする

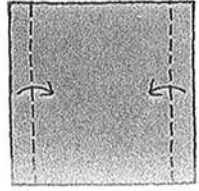
そして、ふたりは 1年に 一度だけ  
天の川を わたって 会うようになりまし

おりひめほしと ひこぼしを さがそう 105ページ

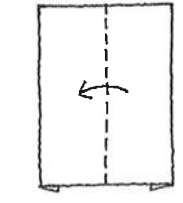
の上達を願う乞巧奠の行事と結びついて、現在のような行事になったのです。  
五色は「五行説」から七夕に願いごとを書く短冊や吹き流しなどは、青、赤、黄、白、紫の五色です。この五色は中国の思想である



ばんぼり

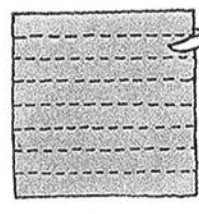


上の 絵のように  
おる。



うらがえして  
半分におる。

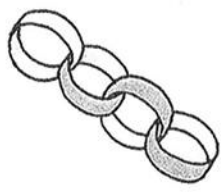
わかざり



宮とら分みやとらぶんに 切って  
細い 短ざくを作る。

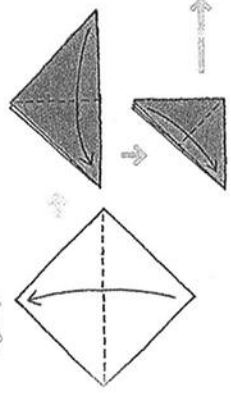


ひとつ自ひとつじを 丸めて、  
テープで とめる。

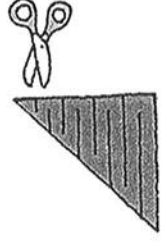


丸まるに 短ざくを 通して  
丸め、つなげていく。

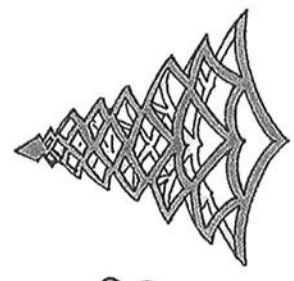
あみ



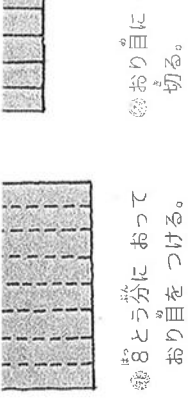
角かくをあわせて おる。  
これを 3回 する。



上の 絵のように  
切りこみを 入れる。



広げる。



8とら分はちとらぶんに おって  
おり自おりじをつける。  
おり自おりじに  
切る。



仙せんあら  
大だいね



七しちね  
ゆた

七夕たなばた  
馬うま

# 学びの教室 授業指導案

	<b>クラス</b>	7	月	2	週目
<b>対象年齢：</b>	<b>作成者： 眞本 千恵</b>				

<b>テーマ</b>	助詞を使って書く
<b>めあて</b>	文づくりに欠かせない助詞の「は」「を」「へ」の使い方を「くつつき」と表現することで理解させ、どんな場合に「は」「を」「へ」と書いて「ワ」「オ」「エ」と発音するのかをことばとことばを結ぶ学習の中で身につける。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	視覚トレーニング				
10分	<導入> 語彙を想起する	短文の 絵カード		「は」「を」「へ」の入った短文の絵カードを音読し、子どもにも同じように読んでもらう。	先生について絵カードに書かれている文を音読する。
10分	どんな場合に「は」「を」「へ」と書いて「ワ」「オ」「エ」と音読するのかを知る	文字カード「は」「わ」「を」「お」「へ」「え」	①板書No.1	「ぼく」□「こどもです。」 「わたし」□「あります。」 「わに」□「こわいです。」 「おにぎり」□「たべる。」 「手」□「あらう。」 「学校」□「行く。」と板書して、「は」と「わ」「を」と「オ」、「へ」と「エ」の文字カードを示して□に入るのはどちらを使うのかをたずねる。	①文を読み、「は」と「わ」のどちらがはいるか考え発表する。②音読する。
20分	助詞を使ったプリントを解く	プリント		助詞を使ったプリントを解いてもらう。(特別支援プリント初級3)	助詞を使ったプリントを解く
10分	読み聞かせ			絵本を読み聞かせる	お話を聞く

**宿題**

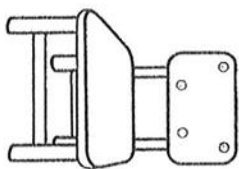
板書No.1	板書No.2	板書No.3
「ぼく」□「こどもです。」 「わたし」□「あります。」 「わに」□「こわいです。」 「おにぎり」□「たべる。」 「手」□「あらう。」 「学校」□「行く。」		

# 2 助詞を使って書く

【は・が・を・に】

教材のポイント  
国語本文に、「は」「を」「に」を置き入れる教材です。書き入れた後に音読し、正確でない場合には、ほかにも例文を作って練習させましょう。

指 記 (できたら〇で囲みましょう)



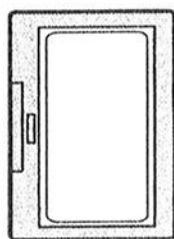
いす  すわる。



わたし  三年生です。  
さんねんせい



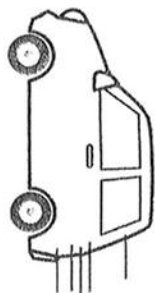
自転車  のる。



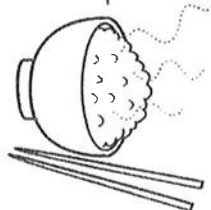
テレビ  見えています。



花  きました。



車  走る。  
くるま



ごはん  食べる。  
ごはん

に「は・が・を・に」のどれかを書きましよう。



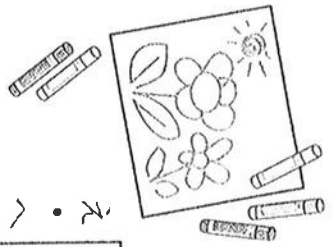
月  
日  
なまえ

# 2 助詞を使って書く

## 2 「わ・は」「お・を」「え・へ」

**教材のねらい**  
 やや遅延な文で、「わ」、「は」などを使い分ける教材です。書き入れた後に音読とで、正確で正しい場合には、ほかにその別文を作って練習させましょう。

**指導**  
 記 (できたら〇で囲みましょう)  
 一人でできた  
 友達とできた  
 先生とできた  
 一人で出来なかった



公園  
こうえん

え・へ

行って

え・へ

かきましよう。

月  
日  
なまえ



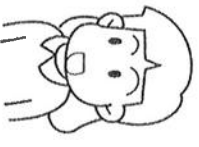
はい、あなたの

お・を

母さん  
かあ

お・を

知って います。



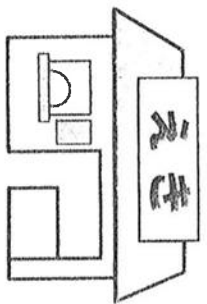
たしの

わ・は

名前  
なまえ

わ・は

ゆきこです。



さんと

え・へ

き

え・へ

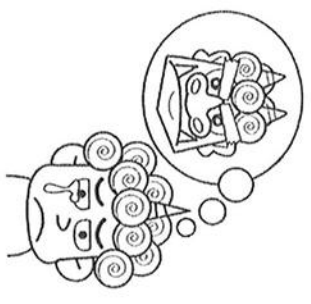
行って、

え・へ

きちよう

しました。

話を



さがして

お・を

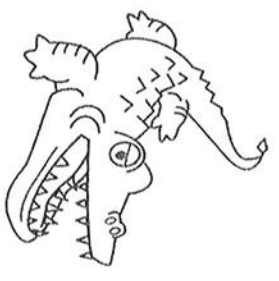
の

お・を

父さん  
とう

お・を

います。



に

わ・は

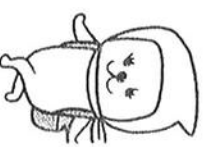
わ・は

こ

わ・は

いです。

に  に入る字をえらんで書きましよう。



# 2 助詞を使って書く

## 3 助詞①

**教材のび**  
 やや複雑な文に助詞を 入れる教材です。書き入れた後、言葉をなぞって確認しましょう。正確でない場合は、ほかにも別文を作って練習させましょう。

**指 記** (できたら○で囲みましょう)

① 一人です  
 ② 一人で  
 ③ 一人で  
 ④ 一人で

□に入る字を ○から えらんで 書きましょう。



が・は

国語

とくいです。



が・と・は

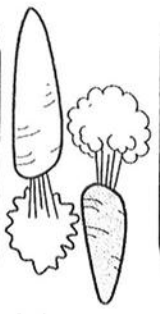
算数

音楽

すきです。

月

日  
なまえ



も・の・も

にんじん

野さい

なかまです。



は・へ・と

おねえさん

いつしよに

公園

行きました。



は・に・の

学校

先生

なりたい。

# 2 助詞を使って書く

## 4 助詞②

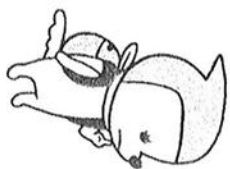
**教材のねらい**  
 やや複雑な文に助詞を密に用いた後、書誌をさせて確認しましょう。ヒントがなくてもできる場合は、ヒントを照して取り組ませましょう。

### 描き記

(できたら○で囲みましょう)



□や ○○に 入る 字を [ ] から えらんで 書きましょう。



きょう

きのう

さむい。



かぜ

ひいた

、

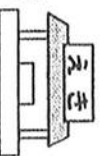
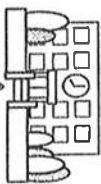
学校

休みました。

月

日

なまえ



えき

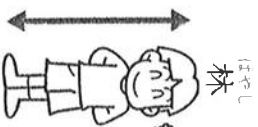
学校

、車

5分

かかります。

たなか



あした

かん字

テスト

あります。

たなか

林

せ

高い。

何回

つかっても



いいよ。

で を の は が の で から まで より



# 2 助詞を使って書く

## 5 助詞③

教材の   材です。書き入れた後に、  
 お話に助詞を差し入れ、意味が通じるかどうかを確認しましょう。

**指**  **記**  (できたら〇で囲みましょう)

 一人で  
 友達で  
 家族で  
 先生と

に 入る 字を 書き入れて、お話を 作りましょう。



行きました。

つぎ

きもの

作り、町

売りに

おばあさんも はたらきもので、つぎから

ばん

はたけしごと

しました。

おじさん

はたらきもので、朝

朝

おじさん

おばあさん

しました。

おかしむかし ある ところ

ある ところ

作りましょう。

に 入る 字を 書き入れて、お話を 作りましょう。

作り方

教えて ください。

わたし

きもの

「おねがいです。

しました。

かわい い うさぎ

立って

ふたり

朝

おきて みると、

ある 日

ことです。



日 月 日 年

なまえ

# 学びの教室 授業指導案

クラス

7 月 3 週目

対象年齢：

作成者： 眞本 千恵

テーマ ていねいな言い方に直そう

めあて 敬語の使い方、相手や場面が変わるときの言い方を知り使えるようにする。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	視覚トレーニング				
10分	<導入> ていねいな言い方とふつうの言い方について知る	短文の絵カード	板書No.1	①短文の絵カードを見て、ていねいな言い方とふつうの言い方で読んでみる。	絵カードを見て、ていねいな言い方をふつうの言い方にしたり、ふつうの言い方をていねいな言い方に直し発表する。
10分	ていねいな言い方とふつうの言い方のプリントを解く			プリントを解いてもらう。(特別支援プリント初級3)	プリントを解く
20分	実際の会話で目上の人との話し方を学ぶ	電話の模型		①電話を想定して、友達に話すのと、目上の人に話すのを見本をみせる。②こどもにロールプレイしてもらう。	友達のとくと目上の人(先生など)のとことばの使い方を変えて話してみる。
10分	読み聞かせ				お話を聞く

宿題

板書No.1	板書No.2	板書No.3
今日は、土曜日だ。→今日は土曜日です。ひまわりは、とても大きい→ひまわりはとても大きいです。		

# 4 ていねいな言い方に直す

「ごさいます」「です」

教材の「おぼろ」  
「ありがとうございます」のように、丁寧なことはには直す教材です。無断に言い比べてみて、感じのちがいを確認させましょう。

描き記 (てきたらので囲みましょう)



「もう、やめた。」

Empty speech bubble for writing a response to the first example.



「それをとって。」

Empty speech bubble for writing a response to the second example.



「ぼくがやる。」

Empty speech bubble for writing a response to the third example.



「あれはなに。」

Empty speech bubble for writing a response to the fourth example.



「おはよう。」

Empty speech bubble for writing a response to the fifth example.

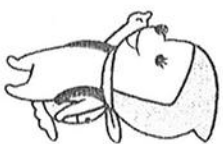


「ありがとうございます。」

Empty speech bubble for writing a response to the sixth example.

「ごさいます や くてす」などを つけます。

ていねいな 言い方に 直しましょう。



月 日 なまえ

# 4 ていねいな言い方に変直す

## ② 「ください」など

教材の「か」  
「かして」→「かし、ください」のように、丁寧なことに直す教材です。空欄に書いてみて、原稿のうかがいを確認させましょう。

指 記 (できたら〇で囲みましょう)  
一人です (一人です)  
一人で (一人で)  
一人で (一人で)  
一人で (一人で)



ていねいな い 言い方 かた で たのみましよう。

言い方を かた 少し すこ かえるだけで、  
ていねい い 気もちの きもち 言い い  
ことば ことば になります。



ノートと えんぴつを かして。

Blank writing area for the first example.

月



さむいから、まどを しめて。

Blank writing area for the second example.

日  
なまえ



もう、やめてよ。

Blank writing area for the third example.



また あした 来てね。

Blank writing area for the fourth example.



ああ… のどが かわいた。  
なにか のみもの ちょうだい。

Blank writing area for the fifth example, featuring a dashed line for tracing.

# 4 ていねいな言い方に直す

## ③ 「ですか」など

教材のねらい  
学校生活でついでに、  
「これは、丁寧な言い方に直す教材です。実際に「はいはい」を確かめさせてみましょう。

指 記 (できたら〇で囲みましょう)

① 書いた

② 読んで

③ 考えた

④ 直した

⑤ できた



さんから  
つかえるように  
しましょう。



みんな もんだい はずかしだよ。  
どう やったら いいの？

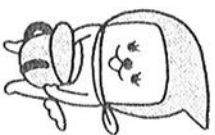


ぼく、ちよつと 頭が いたいから、  
きょうは もう 帰って いい？



先生、まだ 来ないの？  
つぎの 時間は、なにを すんの？

ていねいな 言い方に 直して、  
聞いて みましょう。



月 日  
なまえ